

# 第4学年 社会科学学習指導案

日時 平成16年9月3日(金) 研究授業  
場所 4年1組 教室  
児童 4年1組 32名  
授業者 澤藤雅彦

## 1 単元名 「昔のくらしとまちづくり」

## 2 単元の目標

地域の人々の生活について、古くから残るくらしにかかわる道具、それらを使っていたころのくらしの様子及び地域に残る文化財や年中行事について調べ、地域の人々の生活の変化や人々の願いについて考えることができるようにする。

## 3 単元について

### (1) 教材について

本単元は、学習指導要領第3学年及び第4学年の内容、「地域の人々の生活について古くから残るくらしにかかわる道具、それらを使っていたころのくらしの様子及び地域に残る文化財や年中行事について、見学、調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする」を受けたものである。

初めて自分が生まれる以前の人々の生活にふれる単元であり、人々の衣食住などの生活の変化を今も残る道具を手がかりに調べ、当時のくらしの様子や地域の人々の生活の移り変わりに気づかせることをねらいとしている。今の自分たちの生活が、昔から地域の人たちの工夫や努力によって支えられてきたことを知る大切な学習である。また、地域社会を大切にすることを育てることに適した単元でもある。こうした昔の人々の知恵や願いについて学習することは、人々の生き方にもふれ、地域社会に対する誇りや愛情を育むことにつながるものと考えられる。

### 本単元で身につけるべき基礎・基本

古い道具と昔のくらしについて、伝承館へ行ったり祖父母や周りの人々から聞いたりして調べ、その結果を絵カードや絵年表にまとめる力をつける。

昔の人々のくらしの様子を思い浮かべたり、よりよいくらしを願った昔の人々の気持ちについて考えたりすることができる。

自分たちの現在のくらしは、よりよいくらしを願う人々の努力と工夫の積み重ねによって発展してきたことを理解する。

### (2) 児童について

7月に実施した意識調査から、社会科の学習を「好き」または「どちらかというと好き」と答えた子どもは90%近くであった。好きな理由としては、「見学や調査が楽しい、地図帳で地名探しや新聞作りが好き」などがあげられている。

問題解決の学習に関しては、課題に対して予想をたてたり、調べる方法を自分で選択したりする活動に意欲的に取り組む子がほとんどであり、調べ学習が好きである。反面、グラフや表などの資料の読み取りが苦手で、十分に課題解決ができない子や、調べたこ

とを整理してまとめる活動が不十分な子もいる。

学び合いについては、1学期当初は自分で調べたことや考えたことをみんなに発表することはたいへんためになると思っていながらも、発言する子が固定化している実態であった。そのため、話し合いの手順を提示し、グループでの話し合いの場面を多く設け、話すことに抵抗がなくなるよう取り組んできた。その結果、全体の場ではなかなか自分の意見が言えなかった子も、少人数というグループの中で意欲的に話し合いに参加できるようになってきた。

本単元を学習するにあたって、子どもたちに事前調査をしたところ、祖父母と同居家庭は38%、祖父母から昔の話を聞いたことがあるという子は22%であった。これは、核家族化が進み、祖父母とふれ合う機会が少なくなっている実態があると考えられる。また、昔の生活道具の名前や使い方については、かまどの名前は64%、使い方は77%、火鉢の名前は12%、使い方は9%の子が知っていた。昔の生活道具についてはあまり知識がないことがわかった。このような実態をふまえ、本単元では、祖父母に昔のくらしの様子や当時使っていた道具について聞き取り調査をしてふれ合う場を設け、さらに実際に見たり触れたりする体験活動も取り入れていきたい。

### (3) 指導について

単元のつかむ過程では、金ヶ崎の昔の写真を提示し、いつ頃のどこの写真なのか予想させる。また、現在と昔の写真を比べて相違点や共通点を探る活動をし、昔のくらしについて意識づけを図りたい。さらに、昔の人たちがどのようなくらしをしていたのか疑問点を出し合い、グループの課題作りや調べ学習への意欲を高めていきたい。

しらべる過程では、祖父母や父母などから昔のくらしの様子や当時使っていた道具の名前や使い方について聞き取り調査を行ったり、ふるさと伝承館へ行き古い道具を自分の目で実際に見たりしながら、多様な方法で調べ学習を進めていく。調査後は、道具が使われていた時期を三つに分類し絵カードにまとめさせる。自分の祖父母や父母が小さかったころの様子を実際に聞くことにより、生活の中の喜びや苦勞などの気持ちの面も共有させたい。その後は、道具の移り変わりを整理し、それに伴って、仕事やくらしがどのように変わったのかを話し合う場面を設定する。道具の移り変わりとともに、くらしが便利になってきたことをおさえさせたい。また、くらしの裏側には、常に人々の願いがあることを明確にし、それが生活変化の原動力になっていることも捉えさせたい。

まとめる過程では、グループごとに絵年表作りをする。年表を三つの時期に分け、絵カードを古い順に並べ、仕事や社会の様子を記入し、それぞれの移り変わりを絵年表にまとめていく。各事象を三つの時期に位置づけることで、移り変わりの様子や時間的距離を捉えさせ、くらしの移り変わりについて考えさせたい。

ひろげる過程では、まちに残る古い建物や記念碑、行事などを調べ、昔の人たちがくらしのなかでどんなことを願っていたのか、次単元につなげるためにも問いをもつことができるようにさせたい。

評価については、各過程の指導において、単位時間ごとの評価表及び、座席表を活用して、児童の変容を捉え、個に応じた指導に生かしていきたい。また、単元を見通した自己ふりかえりカードを活用し、児童に見通しをもたせるとともに、意欲の継続を図るコメントの記入をしていきたい。

#### —— 学び合いについて ——

一斉、グループでの学び合いの形態を臨機応変に取り入れ、調べたことを自分の考えとなる根拠をもとに発表させ、友達の考えのよさや違いについて気づく力を養っていききたい。

4 単元の指導・評価計画 (本時6時/7時間)

単 元	【単元の目標】 ・ 地域の人々の生活について、古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていた頃の暮らしの様子および地域に残る文化財や年中行事について調べ、地域の人々の願いについて考えることができるようにする。	関心・意欲・態度	社会的思考・判断	観察・資料活用の技能表現	知識・理解
	・ 昔の道具、それらを使っていたころの暮らしの様子に関心をもち、道具や文化財、地域に残る年中行事について調べようとする。	・ 道具の移り変わりやより便利でより安全な道具ができた過程を調べ、人々の願いについて考えたり、暮らしがどう変わったのかを考えたりできる。	・ 道具調べを通してわかったことを絵カードに自分なりに工夫してまとめたり、今に残る史跡や資料からわかったことを年表や絵地図に整理することができる。	・ 人々の暮らしが変化してきていることや、人々がよりよい暮らしを願い、工夫や努力をしてきたことを理解したり、人々の暮らしが向上してきたことがわかる。	

過 程	単位時間ごとの計画			上段 評 価 規 準				支 援 計 画	
	小単元	時	目 標	学習内容・活動	関心・意欲・態度	社会的思考・判断	観察・資料活用の技能・表現		知識・理解
つ か む	オリエンテーション ・問題を把握する。	1	・ 昔の人たちのくらしについての疑問点を話し合い、調べる意欲をもつことができる。	・ 金ヶ崎の昔の写真を見て、今と昔の写真を比べ、変わったところや変わらないところを調べる。 ・ 昔の人たちのくらしについての疑問点をグループで話し合う。	・ 昔の人たちのくらしについての疑問点を見つけ、調べる意欲をもとうとする。 昔の人たちのくらしについての疑問点を自分の生活と関連させながら見つけ、調べる意欲をもとうとする。 昔の人たちのくらしについての疑問点を見つけ、調べる意欲をもとうとする。 (行動観察)		・ 今と昔の写真を比べ、共通点や相違点を見つけている。 今と昔の写真を比べ、同じところや違うところを見つけ、疑問点を整理している。 今と昔の写真を比べ、同じところや違うところを見つけている。 (ノート、行動観察)		グループの友達の意見を参考にさせ、疑問をもたせる。 土地の使われ方や、道路の様子はどうかなど視点を与える。
	・予想する。 ・調べる計画を立てる。	2	・ 整理した自分の疑問点の解決方法を見つけ、調べる計画を立てることができる。	・ 整理した自分の疑問点について予想を立てる。 ・ 予想したことをもとにグループで話し合う。 ・ 話し合ったことをもとに課題をつくる。	・ 調べる計画を立てることができる。 根拠のある予想や、見通しのある課題をたてようとしている。 予想し、課題をたてようとしている。 (行動観察・ノート)				疑問点はどんなだったかを確認し、結果の予想をたてさせる。
し ら べ る	(1) 昔の道具体験コーナー ・調べる	3 ~ 4	・ ふるさと伝承館を見学して、昔使われていた道具に関心をもち、調べることに、絵カードにまとめることができる。	・ ふるさと伝承館を見学して、展示されている昔の道具を調べるとともに、道具が使われていた時期を4つに分け、絵カードにまとめる。 ・ 昔の道具を実際に使いながら、道具の名前や使われていた時期、使った感想を絵カードに表す。 ・ 古い道具が使われていたころの暮らしの様子を、家の人やお年寄りにたずねて調べる。	・ 展示資料を調べたり、試したりしようとする。 また、調べた昔の様子を絵カードにかき表そうとする。 昔の道具に関心をもち、使ってみながら、その道具が使われていたころの暮らしの様子を調べようとする。 また、調べたことを絵カードにかき表そうとする。 昔の道具に関心をもち、使ってみたり、調べてみたりしようとする。また、調べたことを絵カ		・ ふるさと伝承館を見学し、昔使われていた道具とそれを見た感想を絵カードに表す。 道具を絵カードにかき表し、使われていた時期を記入することとができるとともに、実際に使ってみた感想を詳しく記入することができる。 道具を絵カードにかき表し、使われた時期を記入することができる。 (絵カード)		昔の道具を実際に手にとって観察したり、使ってみたりすることができるようにする。 昔の道具を使ってみた感想を思い出させ、絵カードに記入させる。

				ードにかき表 うとする。 (行動観察・絵 カード)				
ま と め る		5	・道具を通して、昔の人々のくらしについて気付くことができるようにする。 ・祖父母の時代の道具は、今の道具とどんなところが違うか比べる。 ・祖父母の時代のくらしと今のくらしとを比べるとどんなところが違うか考える。		・古い道具が使われていたところのくらしの様子について考える。 ・今と昔の道具を比べ、昔のくらしの様子がわかり、それぞれの時代のくらしのよさについて考えることができる。 ・今と昔の道具を比べ、昔のくらしについて考えることができる。 (ノート・発表・行動観察)		手がかりとなる古い道具の写真や絵カードを提示し、使い方を確認し、今の道具の使い方と比較させる。	
		6 (本 時)	・道具の絵カードを古い順に並べるとともに、仕事や社会の様子についても調べて、それぞれの移り変わりを絵年表にまとめ、くらしの移り変わりについて考える。 ・これまで調べてきたカードを3つの時期に分類し、年表に貼付するとともに、仕事の欄を記入する。 ・仕事や社会の様子について、欄に記入する。 ・暮らしの移り変わりに関して考える。		・昔から現在までのくらしの変化について考える。 ・道具を3つの時期に分類するとともに、その道具が使われていた頃の暮らしと関連づけて考えることができる。 ・道具を比較しながら、古い順に3つの時期に分類することができる。 (行動観察・ノート)		用途が同じ道具の、どこがどのように違っているかを具体的に示しながら考えるようにする。	
ひ ら け る	(2)ま ちに伝わ る昔コー ナー ・ひろげ る	7	・地域に残る古い建物や記念碑、行事などを調べ、人々の生活の変化や人々の願いについて考える。 ・地域のお祭りの由来を調べ、地域の人たちの願いに関心をもつ。 ・地域に残る古い建物や記念碑、行事などを調べ、昔の人はどんな願いをもっていたのかを考える。 ・調べたことをパネルにして多くの人たちに見てもらおう計画をたてる。		・地域に残る古い建物や記念碑、行事などについて考えることができる。 ・地域に残る古い建物や記念碑、行事などをもとに昔の人々の暮らしぶりや願いについて考えることができる。 ・地域に残る古い建物や記念碑、行事などの由来を考えることができる。 (発表・ノート)		・地域に残る古い建物や記念碑、行事などについて理解できる。 ・地域に残る古い建物や記念碑、行事などから、昔の人々の暮らしぶりや願いがわかる。 ・地域に残る古い建物や記念碑、行事などがわかる。 (発表・ノート)	古い建物や記念碑、行事などの由来が書かれた、読み取りやすい資料を提示する。 実際に地域を歩いて調べられるようにする。

5 本時の指導

(1) 目標

道具の絵カードを古い順に並べるとともに，仕事や社会の様子についての移り変わりを絵年表にまとめ，くらしの移り変わりについて考えることができるようにする。

(2) 評価規準・具体的評価規準

具体的評価規準	具体的評価規準	
	十分満足できる状況	おおむね満足できる状況
【思考・判断】 昔から現在までの暮らしの移り変わりについて考える。	道具を三つの時期に分類するとともに，その道具が使われていた頃の暮らしと関連づけて考えることができる。	道具を比較しながら，古い順に三つの時期に分類し，くらしの移り変わりを考えることができる。

(3) 本時の展開

は十分満足できる子， はおおむね満足できる子， は努力を要する子への支援

過程	学習内容・活動	指導上の留意点	評価と支援
つかむ	1 前時までの学習をふりかえる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>作った絵カードを分かりやすく整理するための方向付けとくらしの変化について方向付け図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでに作ってきた絵カードを振り返らせる。</li> </ul>
	2 学習課題を把握する。		
7分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">昔と今のくらしはどうかわってきたのだろう。</div> 3 予想する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>今と比べて昔の生活は，大変だった。</li> <li>昔は，みんなで作業していた。今は，一人でかん単にできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵カードを3つの時期に分類すること，仕事の様子，社会の様子についても絵年表に表すことを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習内容や生活経験をもとに，予想させる。</li> </ul>
	4 絵年表のまとめ方を確認する。		
しるべ	5 絵年表をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>あらかじめ枠のある用紙を配布し，絵年表を作らせる。</li> <li>分担のめやすを提示し，どの子も絵年表作りに参加できるようにする。</li> <li>写真を選んだ根拠も言えるようにさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業は分担して，効率よく行わせる。</li> </ul>
	ア 絵カードを3つの時期に分類し，年表に貼る。 イ 絵カードに仕事の様子を記入し，年表に貼る。 ウ 社会の様子について，写真を選び年表に貼る。		
る	6 学び合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>円滑に話し合い活動が</li> </ul>	

<p>・ ま と め る</p> <p>33 分</p>	<p>・ ついで考える。 (1)個人で考える。 (2)グループ話し合う。</p> <p>7 グループでまとめたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道具が便利になって仕事が楽になった。</li> <li>・ 昔は、助け合っていた。</li> <li>・ 今とはちがったくらしのちえがあった。</li> <li>・ 今は、手間がかからなかった。</li> </ul> <div data-bbox="320 996 1018 1160" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>昔は、仕事に手間がかかった分、協力したり、工夫したりして生活していた。今は、昔からの知えと努力のおかげで、道具が便利になり、くらしやすくなった。</p> </div>	<p>できるように、「話し合いの手順」を提示する。</p> <p>【学び合いの形態】 グループ</p> <p>【学び合いの視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時代ごとに道具がどう変わったか。</li> <li>・ 道具が変わったことで、生活はどう変わったか。</li> <li>・ 自分たちの考えと、他のグループとの相違点を意識しながら聞くように促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 完成した絵年表を見て、暮らしの移り変わりをまとめさせる。</li> <li>・ 古い道具にもよさがあることに気付かせる。</li> </ul> <div data-bbox="1074 427 1409 1039" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【思考・判断】 昔から現在までの暮らしの移り変わりについて考える。 (行動観察・ノート)</p> <p>よい点と悪い点の両方を考えさせる。 道具が使われていた頃の暮らしと関連づけて考えさせる。 用途が同じ道具の、どこがどのように違うのかを具体的に示しながら考えるようにする。</p> </div>
<p>ひ ろ げ る 5 分</p>	<p>8 学習をふりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ふりかえりカードに記入する。</li> </ul> <p>9 次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学び合いの場面などで、友達の考えで参考になったことを発表させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の学びをふりかえらせ、次時への意欲を持たせていく。</li> </ul>

(4) 板書計画

<p>か題</p>		
<div data-bbox="347 1525 815 1608" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>昔と今のくらしはどうかわってきたのだろう。</p> </div>	<div data-bbox="900 1525 1118 1653" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学び合いの視点</p> </div>	<div data-bbox="1161 1525 1321 1733" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>手順</p> </div>
<div data-bbox="363 1653 799 1854" style="border: 1px solid black; padding: 5px; height: 90px;"> <p>絵年表のモデル</p> </div>		
<p>まとめ</p> <div data-bbox="858 1771 1337 1980" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>昔は、仕事に手間がかかった分、協力したり、工夫したりして生活していた。今は、昔からの知えと努力のおかげで、道具が便利になり、くらしやすくなった。</p> </div>		